



平成27年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年1月30日
上場取引所 東

上場会社名 株式会社 デサント
コード番号 8114 URL <http://www.descente.co.jp>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 石本 雅敏
問合せ先責任者 (役職名) 取締役ロジスティクス管掌 (氏名) 辻本 謙一
兼スタッフ管掌

(TEL) 06-6774-0365

四半期報告書提出予定日 平成27年2月5日 配当支払開始予定日 —
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年3月期第3四半期の連結業績(平成26年4月1日~平成26年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第3四半期	86,335	13.7	5,303	47.7	5,702	47.6	4,140	51.1
26年3月期第3四半期	75,931	17.0	3,591	3.6	3,863	5.7	2,739	14.7

(注) 包括利益 27年3月期第3四半期 5,099百万円(12.0%) 26年3月期第3四半期 4,553百万円(73.7%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第3四半期	54.96	—
26年3月期第3四半期	36.36	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年3月期第3四半期	93,903	60,634	64.6
26年3月期	83,830	56,309	67.2

(参考) 自己資本 27年3月期第3四半期 60,634百万円 26年3月期 56,309百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	0.00	—	10.00	10.00
27年3月期	—	0.00	—		
27年3月期(予想)				12.00	12.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年3月期の連結業績予想(平成26年4月1日~平成27年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	123,000	11.9	8,000	27.6	8,200	23.4	5,400	20.8	71.67

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 有
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注)詳細は、四半期決算短信【添付資料】4ページ「2. サマリー情報 (注記事項)に関する事項 (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	27年3月期3Q	76,924,176株	26年3月期	76,924,176株
② 期末自己株式数	27年3月期3Q	1,585,756株	26年3月期	1,580,782株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	27年3月期3Q	75,341,530株	26年3月期3Q	75,347,284株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信【添付資料】3ページ「(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9
4. 補足情報	10
(1) 販売実績	10
(2) 海外売上高	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間の売上高は86,335百万円（前年同四半期比13.7%増）、営業利益は5,303百万円（前年同四半期比47.7%増）、経常利益は5,702百万円（前年同四半期比47.6%増）、四半期純利益は4,140百万円（前年同四半期比51.1%増）となりました。セグメント別ではデサントコアを中心とするアジアが売上高及び利益共に好調でしたが、日本は減収減益となりました。

当社グループは、当期を2年目とする中期3ヶ年計画「Compass 2015」の達成に向けて、「海外事業の更なる拡大」と「国内事業の再建」を事業方針に掲げ、各種施策を実行しました。海外においては、4月に、中国や東南アジア等のマーケティング拠点として香港支店を、欧州エリアでの「デサント」の事業強化を目的に欧州リエゾンオフィスにスイスにそれぞれ設置しました。さらに、12月には「デサント」のグローバルなリテール事業強化を目的に「デサントグローバルリテール株式会社」を2015年1月に設立することを発表いたしました。国内では、在庫の適正化、種目別事業の強化等、企業体質の強化に取り組んでまいりました。

商品政策では、当社がアジア地域で商標を保有する「ルコックスポルティフ」、「アリーナ」、日本と韓国で商標を保有する「アンブロ」といったブランドで、その他の地域の商標を保有するパートナー企業との連携を深め、ブランドの世界観をグローバルで統一して表現する「ワングローバルブランド」の推進を行っております。当期間においては「アリーナ」で2014年12月にドーハ（カタール）で開催された「第12回世界水泳選手権大会（25m）」に協賛しました。これはアジア以外で同ブランドを展開するアリーナ社（イタリア）と共同で締結した、国際水泳連盟とのオフィシャルパートナー契約に基づく初めての取り組みです。同大会では、「アリーナ」の着用選手が全体の約半数を占め、その活躍もあり、ブランドの価値向上につながりました。その他のブランドにおいてもトップチームやアスリートのパフォーマンスをサポートする機能性に優れた商品開発を目指します。

広告宣伝・販売促進活動では、「アンブロ」でオフィシャルサプライヤー契約を結ぶサッカーJリーグ「ガンバ大阪」が3冠を達成し、「アンブロ」を着用した選手たちが大活躍をいたしました。また、サッカーJリーグ「FC東京」を運営する東京フットボールクラブ株式会社と2015年シーズンからのオフィシャルサプライヤー契約を締結いたしました。ゴルフカテゴリーでは2015年シーズンよりスタートする「デサント」のゴルフカテゴリーのアンバサダーに元サッカー日本代表選手の中田英寿さんを起用しました。「マンシングウェア」ではブランドキャラクターとして、中国を中心に活躍する俳優の黄曉明（ホアン・シャオミン）さんを起用し、中華圏でのブランドの知名度向上を目指すなど、各ブランドで価値向上、販売強化に努めてまいります。

社会貢献活動としては、デサントヘルスマネジメント研究所で培ったノウハウを活用し、福島県（双葉町、浪江町、いわき市）において、健康増進プログラム「東北元気アップ教室2014」を開催いたしました。引き続き被災地の方々の心と体の健康維持向上のための支援活動を続けてまいります。スポーツ振興事業においては、9年目を迎えた「すこやかキッズスポーツ塾」を、小学生を対象に開催いたしました。

報告セグメントの業績は次のとおりであります。

(日本)

日本での売上高は40,746百万円（前年同四半期比3.7%減）、セグメント利益は44百万円（前年同四半期比79.1%減）となりました。売上高は消費増税の影響による買い控えや天候不順により減収となり、利益は、販売費及び一般管理費の削減を行いました。返品調整引当金繰入額の増加により減益となりました。

(アジア)

アジアでの売上高は44,622百万円（前年同四半期比36.0%増）、セグメント利益は5,158百万円（前年同四半期比54.2%増）となりました。韓国では事業全般に好調に推移し、中国・香港ではアスレチック事業及びゴルフ事業が共に好調に、アウトドア事業は堅調に推移いたしました。

(北米)

北米ではスキーウェアを中心とした事業を行っておりますが、売上高は966百万円（前年同四半期比19.0%増）、セグメント利益は70百万円（前年同四半期は24百万円のセグメント利益）となりました。

取扱商品の品目別売上高の状況は次のとおりであります。

(アスレチックウェア及びその関連商品)

アスレチックウェア及びその関連商品の売上高は55,295百万円(前年同四半期比19.9%増)となりました。国内市場においては、「デサント」「ルコックスポルティフ」「アリーナ」は昨年並みでしたが、「アンブロ」は減収となりました。アジア市場においては、韓国で「デサント」「ルコックスポルティフ」の現地企画がマーケットのニーズに合致し、好調に推移いたしました。

(ゴルフウェア及びその関連商品)

ゴルフウェア及びその関連商品の売上高は24,237百万円(前年同四半期比3.2%増)となりました。国内市場においては、「マンシングウェア」「ランバン スポール」は昨年並みでしたが、「ルコックスポルティフ」は減収となりました。アジア市場においては、韓国で「ルコックスポルティフ」の現地企画のウェアやゴルフシューズが好評で、好調に推移いたしました。

(アウトドアウェア及びその関連商品)

アウトドアウェア及びその関連商品の売上高は6,801百万円(前年同四半期比7.1%増)となりました。国内市場においては「マーモット」は堅調に、「デサント」は昨年並みに推移しました。アジア市場においては、韓国で「デサント」が好調に推移しました。

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

(2) 財政状態に関する説明

(資産、負債、純資産の状況に関する分析)

当第3四半期連結会計期間末の資産合計は93,903百万円となり、前連結会計年度末に比べ10,073百万円増加致しました。

流動資産は前連結会計年度末に比べ7,841百万円増加し、68,260百万円となりました。これは主に現金及び預金の増加2,074百万円、商品及び製品の増加4,479百万円によるものです。

固定資産は前連結会計年度末に比べ2,231百万円増加し、25,643百万円となりました。これは主に有形固定資産の増加1,002百万円によるものです。

負債合計は前連結会計年度末に比べ5,748百万円増加し、33,268百万円となりました。これは主に支払手形及び買掛金の増加4,001百万円によるものです。

純資産は前連結会計年度末に比べ4,325百万円増加し、60,634百万円となりました。これは主に利益剰余金の増加3,371百万円によるものです。

以上の結果、自己資本比率は前連結会計年度末に比べ2.6%減の64.6%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社グループを取り巻く環境はさらに厳しい状況で推移するものと見込まれます。

このような状況のなかで、当社グループは引き続き企業体質の強化による収益力向上と企業価値の向上に努めてまいりたいと存じます。

連結業績予想につきましては、平成26年10月30日の決算短信で公表いたしました連結業績予想から変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用の計算

一部の連結子会社について、税金費用は、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

なお、当該連結子会社の法人税等は、法人税、住民税及び事業税に含めて表示しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

(重要なヘッジ会計処理等の方法の変更)

従来、外貨建金銭債権債務に係る為替予約については振当処理を採用しておりましたが、為替リスクの評価及び為替予約に関する管理体制の見直しを行った結果、外貨建金銭債権債務及びデリバティブ取引の状況をより適正に連結財務諸表に反映させるため、第1四半期連結会計期間よりヘッジ手段である為替予約を時価評価する方法に変更いたしました。

当該会計方針の変更は、過去の期間に与える影響額が軽微であるため、遡及適用しておりません。

なお、この変更による当第3四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

(退職給付に関する会計基準等の適用)

「退職給付に関する会計基準」(企業会計基準第26号 平成24年5月17日。以下「退職給付会計基準」という。)及び「退職給付に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第25号 平成24年5月17日。以下「退職給付適用指針」という。)を、退職給付会計基準第35項本文及び退職給付適用指針第67項本文に掲げられた定めについて第1四半期連結会計期間より適用し、退職給付債務及び勤務費用の計算方法を見直し、退職給付見込額の期間帰属方法を期間定額基準から給付算定式基準へ変更するとともに、割引率の算定方法を変更しております。

退職給付会計基準等の適用については、退職給付会計基準第37項に定める経過的な扱いに従って、第1四半期連結会計期間の期首において、退職給付債務及び勤務費用の計算方法の変更に伴う影響額を利益剰余金に加減しております。

この結果、第1四半期連結会計期間の期首の退職給付に係る負債が24百万円増加し、利益剰余金が15百万円減少しております。また、当第3四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	16,857	18,932
受取手形及び売掛金	21,481	21,337
商品及び製品	18,226	22,705
仕掛品	23	142
原材料及び貯蔵品	703	786
その他	3,216	4,439
貸倒引当金	△90	△84
流動資産合計	60,418	68,260
固定資産		
有形固定資産	14,336	15,338
無形固定資産	2,230	2,490
投資その他の資産		
その他	7,057	7,913
貸倒引当金	△212	△99
投資その他の資産合計	6,844	7,813
固定資産合計	23,411	25,643
資産合計	83,830	93,903
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	15,537	19,538
1年内返済予定の長期借入金	106	124
未払法人税等	1,129	1,265
賞与引当金	768	455
返品調整引当金	503	1,285
その他	4,418	4,801
流動負債合計	22,463	27,470
固定負債		
長期借入金	903	993
退職給付に係る負債	1,014	1,075
その他	3,139	3,729
固定負債合計	5,057	5,797
負債合計	27,520	33,268

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,846	3,846
資本剰余金	25,184	25,184
利益剰余金	24,443	27,814
自己株式	△666	△671
株主資本合計	52,807	56,174
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	407	694
繰延ヘッジ損益	△4	△141
為替換算調整勘定	3,114	3,891
退職給付に係る調整累計額	△15	15
その他の包括利益累計額合計	3,501	4,460
純資産合計	56,309	60,634
負債純資産合計	83,830	93,903

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)
売上高	75,931	86,335
売上原価	36,719	39,604
売上総利益	39,212	46,730
返品調整引当金繰入額	289	796
差引売上総利益	38,923	45,934
販売費及び一般管理費	35,331	40,631
営業利益	3,591	5,303
営業外収益		
受取利息	42	116
受取配当金	51	70
その他	226	289
営業外収益合計	319	476
営業外費用		
支払利息	2	12
固定資産除却損	38	51
その他	7	13
営業外費用合計	48	77
経常利益	3,863	5,702
税金等調整前四半期純利益	3,863	5,702
法人税、住民税及び事業税	1,222	1,791
法人税等調整額	△99	△229
法人税等合計	1,123	1,561
少数株主損益調整前四半期純利益	2,739	4,140
四半期純利益	2,739	4,140

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	2,739	4,140
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	341	287
繰延ヘッジ損益	△63	△137
為替換算調整勘定	1,479	760
退職給付に係る調整額	—	31
持分法適用会社に対する持分相当額	56	16
その他の包括利益合計	1,814	958
四半期包括利益	4,553	5,099
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	4,553	5,099

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第3四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	日本	アジア	北米	計		
売上高						
外部顧客への売上高	42,305	32,813	812	75,931	—	75,931
セグメント間の内部売上高 又は振替高	1,682	108	0	1,791	△1,791	—
計	43,987	32,922	812	77,723	△1,791	75,931
セグメント利益	213	3,345	24	3,583	8	3,591

(注) 1 セグメント利益の調整額8百万円には、セグメント間取引消去53百万円、棚卸資産の調整額△45百万円を含んでおります。

(注) 2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	日本	アジア	北米	計		
売上高						
外部顧客への売上高	40,746	44,622	966	86,335	—	86,335
セグメント間の内部売上高 又は振替高	2,266	57	0	2,324	△2,324	—
計	43,013	44,679	966	88,659	△2,324	86,335
セグメント利益	44	5,158	70	5,273	29	5,303

(注) 1 セグメント利益の調整額29百万円には、セグメント間取引消去39百万円、棚卸資産の調整額△10百万円を含んでおります。

(注) 2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

4. 補足情報

(1) 販売実績

(単位：百万円、%)

区分	前第3四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)		当第3四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年12月31日)		増減	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	増減率
アスレチックウェア 及びその関連商品	46,101	60.7	55,295	64.0	9,193	19.9
ゴルフウェア 及びその関連商品	23,478	30.9	24,237	28.1	758	3.2
アウトドアウェア 及びその関連商品	6,351	8.4	6,801	7.9	450	7.1
計	75,931	100.0	86,335	100.0	10,403	13.7

(2) 海外売上高

前第3四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)

(単位：百万円、%)

	アジア	北米	その他の地域	計
I 海外売上高	33,769	815	755	35,340
II 連結売上高				75,931
III 連結売上高に占める 海外売上高の割合	44.5	1.1	1.0	46.5

(注) 売上高は顧客の所在地を基礎とし、国又は地域に分類しております。

当第3四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年12月31日)

(単位：百万円、%)

	アジア	北米	その他の地域	計
I 海外売上高	45,682	966	770	47,419
II 連結売上高				86,335
III 連結売上高に占める 海外売上高の割合	52.9	1.1	0.9	54.9

(注) 売上高は顧客の所在地を基礎とし、国又は地域に分類しております。